# 環境

## 3月まで使用します ごみ・リサイクルカレンダー

ごみ・リサイクルカレンダーは年末で捨てずに、3月まで大切に保管してください。令和8年度のごみ・リサイクルカレンダーは2月下旬から各家庭に配布予定です。

問生活環境課ごみ・リサイクル係

## 参加者募集 いなぎ里山レンジャー

市の樹林地を守るいなぎ里山レンジャー(樹林地管理ボランティア)を募集します。木の伐採・剪定(せんてい)等樹林地管理に興味がある方等どなたでも参加できます。樹林地管理の経験は問いません。講習会を通じて、安全に樹林地を管理できるよう指導します。詳細は市Web(下記参照)をご覧ください。

日1～7月の全8回程度
定12人(申込先着順)
申市Web内申込フォーム
**動画で紹介しています！**
講習会の様子や参加者の声を紹介しています。ぜひご覧ください(下記参照)。
先問緑と環境課緑と公園係

## 利用者募集 農業体験農園

農園主の指導により野菜の作付けから収穫まで楽しめます。新鮮で美味しい野菜作りを楽しみませんか。

対市内在住で18歳以上の方
▽利用期間 3月7日(土)～令和9年1月31日
▽募集区画 30区画(1区画15㎡)
※申込者多数の場合は抽選し、結果は2月中旬までに園主より連絡
※水道設備・トイレ有り、駐車場無し
費年額6万円(指導料・種苗等の資材代含む)
申往復はがき(必要事項○住所○氏名○年齢○電話番号○生年月日○利用希望の旨)
限1月30日(金)
場先問松本ファーム(〒206・0802稲城市東長沼1318)☎090・4063・5474

## 令和7年度稲城市カーボンニュートラル住宅設備等補助金

自家消費を目的として、太陽光パネルや蓄電池等、創エネ・省エネ機器を導入した方に補助を実施します。詳細は市Web(下記参照)をご覧ください。

対令和7年3月1日～令和8年2月28日までに市内の住宅等に創エネ・省エネ機器を導入した個人
申市Web内申込フォーム
※申込先着順
限3月13日(金)午後5時
先問緑と環境課環境政策係

# 税金

## 固定資産税のお知らせ

**償却資産の申告書類を送付します**

令和8年1月1日時点で、市内で事業を行っている方は申告が必要です。前年と申告内容が変わらない方、商号変更・廃業等をした方も、2月2日(月)までに申告してください。詳細は市Web(下記参照)をご覧ください。

**実地調査を実施します**

市では、固定資産税(土地・家屋)の実地調査を行っています。適切な税額算定のため、調査へのご協力をお願いします。

**固定資産税額の減額について**

住宅改修を行った場合、家屋の固定資産税が減額されます。改修工事完了後、3カ月以内に申請してください。詳細は市Web(下記参照)をご覧ください。

**固定資産の変更手続き**

必要書類等の詳細は市Web(下記参照)をご覧ください。

なお、土地・家屋を相続する場合、相続登記が必要となります。詳細は東京法務局(☎042・335・4753)にお問い合わせください。

対次のいずれかに該当する方
○固定資産の所有者が亡くなった
○家屋を取り壊した
○家屋の用途を変更した
問課税課土地係・家屋係

## 税理士による無料申告相談の開催

所得税・復興特別所得税・個人消費税の申告書を作成して提出できます。

※土地や建物、株式等の譲渡所得がある場合を除く
日場○2月3日(火)＝ふれんど平尾
○2月4日(水)～6日(金)＝地域振興プラザ4階会議室
時午前9時30分～午後4時30分
持前年の申告書の控えや源泉徴収票等申告に必要な書類、筆記具、計算器具、マイナンバーカード等
※医療費控除を受ける方は、「医療費控除の明細書」を事前に作成し持参
※申告書は会場に用意有り
申申込フォーム(下記参照)〔1月9日(金)午前9時～〕
※空きがあれば当日午前10時から入場整理券を配布します。
問日野税務署 ☎042・585・5661

# まちづくり

## 傍聴できます 第252回東京都都市計画審議会

付議予定案件は「東京都都市整備局」Webをご覧ください。個人のプライバシーに関わる案件等がある時は、会議が一部非公開になることがあります。

日2月5日(木)
時午後1時30分～
場都庁内会議室
定15人(申込者多数の場合は抽選)
申往復はがき(必要事項○住所○氏名○電話番号○傍聴希望の旨)
限1月14日(水)消印有効
先問東京都都市整備局都市計画課(〒163・8001東京都庁)☎03・5388・3225

## 傍聴できます 稲城市地域公共交通会議

地域バス事業等の輸送サービスに関することを協議します。詳細はお問い合わせください。

日12月22日(月)
時午前10時～正午
場地域振興プラザ4階会議室
定5人(会場先着順)
申開催10分前までに会場で受付
先問管理課交通対策係

## 都市計画の告示

都市計画の変更について告示しました。

▽告示日 11月28日
内多摩都市計画道路・公園の変更、多摩都市計画用途地域・高度地区・地区計画の変更(稲城榎戸地区)
問まちづくり計画課都市計画係・開発指導係

## 木造住宅の耐震診断・改修等助成制度、ブロック塀等撤去等補助制度

大地震に備え、木造住宅(建築年等の要件有り)を対象に、耐震診断・耐震改修・解体(耐震除却)の一部費用を助成しています。また、地震時の倒壊を防ぐため、ブロック塀等の撤去及びフェンス等新設の一部費用を補助しています。詳細は市Webをご覧いただくかお問い合わせください。問まちづくり再生課住所整理・団地再生係

# 市長コラム No.166

## 東京2025デフリンピックのレガシー

先月11月15日から26日までの12日間、日本で初めてのデフリンピック(聴覚障害者のための国際総合スポーツ大会)が開催されました。この歴史的な大会において、稲城市からはデフバレーボール女子日本代表として松永 彩珠さんが選抜されました。

市では松永さんが日本代表に内定された段階で「稲城市ホームタウンアスリート」に認定し、8月22日に認定式を行い、9月24日には壮行会を開催してデフリンピックへ送り出しました。

松永さんは生まれつきの感音性難聴です。稲城市出身で、日本ろう話学校幼稚部、稲城市立長峰小学校、都立中央ろう学校、都立立川ろう学校専攻科を卒業され、現在は都内の企業にお勤めです。

中学校1年生の時にバレーボールを始め、メキメキと上達されました。最近では令和6年度に第24回東京都障害者スポーツ大会で優勝、デフバレーボール世界選手権沖縄豊見城大会で優勝し、令和7年度には、第26回ジャパンデフバレーボールカップ川崎大会で優勝しました。

デフバレーボール競技は一般のバレーボールと同じルールで行われますが、デフリンピックでは競技中に補聴器の使用が禁止されており、選手にはチームメイトの声、審判の笛の音、ボールをはじく音等が聞こえません。選手同士や監督とは手話やアイコンタクト、ボディランゲージ等を使ってコミュニケーションを図るとのことです。聞こえない条件下で自分自身の視覚を頼りに一瞬の判断を要求され、言葉や音を超越した純粋な身体能力と精神力、そして研ぎ澄まされた集中力が要求されます。

また、観客から選手への応援も声や音では届きません。9月24日の壮行会では、稲城市聴覚障害者協会のご協力を得て、参加者みんなで簡単な手話と応援サインを習いました。

デフバレーボール女子日本代表チームは、予選リーグを全勝で決勝トーナメントに進んだことから、予告どおり11月25日の決勝戦では地域振興プラザにてパブリックビューイングを開催し、多くの市民の皆さんに応援していただきました。その結果、3対0で強敵トルコを打ち負かし、見事に金メダルを獲得しました。

デフリンピックは、パラリンピックと並ぶ障害者スポーツの最高峰の大会です。パラリンピックは1960年に開催されたローマ大会が第一回とされていますが、デフリンピックは1924年の夏季パリ大会を起源としており、パラリンピックより歴史が古い大会です。

今回の東京大会は100年を超える記念すべき第25回大会となりました。日本は金メダルを16個獲得し、ウクライナの32個、アメリカの17個に次ぐ第三位です。また、メダル総数では51個を獲得し、ウクライナの100個に次ぐ第二位となり、いずれも目標を大きく上回る大躍進でした。

デフリンピックは、今回東京での開催と日本選手団の大活躍を経て、パラリンピックと並び称されるほどに認知度が上がりました。そして、障害者理解を進める上で、この「音のないコミュニケーション」にこそ、私たちが学ぶべき共生のヒントが隠されているのではないでしょうか？私たち市民一人ひとりが聴覚障害について理解を深め、共生社会のあり方について考える絶好の機会を与えてくれたものと思います。

これまで手話や指文字というものは特殊な技能と思われていましたが、デフリンピックがきっかけとなって、一般の方も簡単な手話やサインを使う機会が増えました。今回を契機として、意思疎通のバリアフリーを推進していくことの重要性が認識されました。

このたびの感動体験は、単なる記憶として残すのではなく、共生社会という大きな目標に向けた稲城の未来を照らすレガシーとしていきたいと思います。

稲城市長 高橋 勝浩

▲壮行会の様子